

令和元年度金山町成人式が8月14日、農村環境改善センターを会場に挙行されました。対象となる新成人は男性32名、女性27名の計59名。久しぶりに再会した仲間と笑顔で近況を報告したり、当時の思い出を話したりと、会場は懐かしさに高揚しつつも、大人としての門出に少し緊張感のただよう、成人式ならではの雰囲気にも包まれていました。

式典では、中学校の恩師である小野寺淳先生が当時を振り返りながら、教え子たちにエール。新成人を代表して実行委員長の柴田龍一さん（入有屋）が「現在ではそれぞれの道を進んでいるが、私たちは皆、金山の大自然や人々のあたたかさにも包まれて育った。これからの社会を支える一員としての自覚を胸に刻み、誇りを持って生きていくことを誓う」と応えるように決意の

1\_式に参加した新成人49名で集合写真  
2\_代表のこたばを述べた成人式実行委員長の柴田龍一さん  
3\_当時3年A組を担当した小野寺淳先生が恩師を代表してあいさつ  
4\_記念品として成人者から町へ大型絵本3冊が贈呈された  
5\_講演で熱弁をふるった皆川町政策顧問  
6\_一人ずつ名前が呼ばれ堂々と返事をする新成人ら  
7\_講演後の質疑応答では若者らしい意見に会場が沸いた



## 令

和初の金山町成人式を挙行  
新成人が未知なる道を歩み出す――

言葉を述べました。

また、二十歳の提言では、町政策顧問である皆川芳嗣さんが「農福・農泊は日本を救うか？」と題し講演。「全国的に人口減少や高齢化、担い手不足が課題。農業が主産業である金山で、農福・農泊に挑戦することは大きな意味がある」と希望ある見解を述べられていました。

式の後に行われた「二十歳の集い」でも、タイムカプセルを開封するなどして大いに盛り上がりました。

## 木

の建築フォーラムが最上地域で研究集会  
大美輪など金山杉の森林を見学

地域に根ざした質の高い優れた木造建築の普及やそれらを継承するまちづくりの推進などを実践しているNPO法人木の建築フォーラム（松留慎一郎理事長）が7月18～19日、最上地域を会場に研究集会・現地見学会を開催しました。

金山町森林組合の狩谷健一常務理事から、林業・製材の取り組みについて事例報告があったほか、大美輪の大杉や日輪舎など、町内各所を視察。参加者は、長伐期などが特徴とされる金山の林業実情について、理解を深めていました。



## 丹

運太郎さんに町からお祝い金を贈呈  
健康の秘訣は「日記と読書」



丹運太郎さん（七日町）が、8月8日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。運太郎さんは大正8年生まれ。ご自身にとって4時代目となる令和を元気に迎えることができて「金山に生まれて幸

せだ」と、昔を懐かしみながら白い歯を見せていました。

運太郎さんいわく、健康長寿の秘訣は「日記をつけることと歴史の本を読むこと」だそう。これからも健康に留意され、長生きしてください。長寿、おめでとございます。

## マ

マルコの蔵で「奥山敏彦展」や「大滝博子創作人形」  
西蔵・東蔵のギャラリーで各種展示

マルコの蔵では、西蔵1階と東蔵2階のギャラリースペースを利用して、様々な展示を行っています。

東蔵では、中学校の美術教諭として長年活躍され、7月に亡くなった奥山敏彦さんの絵画作品を8月19日まで展示。大堰の鯉や金山杉など金山の四季風景もギャラリーを彩りました。

また、8月29日までの期間、西蔵では大滝博子創作人形展を開催。町在住者の「お盆期間に合わせ、帰省客などに見てもらいたい」との思いから実現しました。全国にファンが多い大滝さんの作品。町での初展示を受け「金山の雰囲気とも合う作品だ」と大滝さんは話していました。

現在は、やまがた百名山写真展を9月23日まで開催中。今後も各種展示を行う予定です。ので、お気軽にお立ち寄りください。



西蔵に展示されていた創作人形展。表情が素晴らしいと評判（左2枚）／東蔵2階では壁面を利用して展示（右2枚）